

令和5年度

事業報告書



公益財団法人 日本教育公務員弘済会埼玉支部

1 令和5年度事業報告

I 組織と運営の状況

1. 監査会・運営委員会・幹事会について

開催日	会議名	会場	主な内容
令和5年 5月23日	監査会	埼玉教育会館	・令和4年度事業報告並びに決算報告に関する件
令和5年 5月26日	第137回 運営委員会	埼玉教育会館	・令和4年度事業報告並びに決算報告の承認に関する件
令和5年 5月31日	第227回 幹事会	埼玉教育会館	・令和4年度事業報告並びに決算報告の承認に関する件 ・教育研究助成事業規程及び教育文化事業規程の運用について
令和5年 10月30日	監査会	埼玉教育会館	・令和5年度上半期事業報告並びに決算報告に関する件
令和5年 11月24日	第138回 運営委員会	埼玉教育会館	・令和5年度上半期事業報告並びに決算報告に関する件 ・令和6年度「福祉事業」における変更点に関する件
令和5年 11月27日	第228回 幹事会	埼玉教育会館	・令和5年度教育研究助成事業及び教育文化事業に係る選考委員会での選考結果の決議に関する件 ・令和5年度上半期事業報告並びに決算報告に関する件 ・令和6年度「福祉事業」における変更点に関する件
令和6年 3月8日	第139回 運営委員会	埼玉教育会館	・令和5年度補正予算案の承認に関する件 ・令和6年度事業計画案並びに収支予算案の承認に関する件 ・幹事・監査の選任に関する件
令和6年 3月12日	第229回 幹事会	埼玉教育会館	・令和5年度教育研究助成事業のうち「はばたき」応援プロジェクトに係る選考委員会での選考結果の決議に関する件 ・令和5年度補正予算案の承認に関する件 ・令和6年度事業計画案並びに収支予算案の承認に関する件 ・運営委員の選出に関する件 ・役員の選任に関する件

2. 教育振興事業選考委員会について

奨学金の貸与・給付及び研究・実践活動への助成等、教育振興事業の適正な執行を図るため、委員会において審査・選考を行いました。

開催日	会議名	会場	主な内容
令和5年 5月11日	第1回教育振興事業選考委員会	埼玉教育会館	・令和5年度上期貸与奨学生の審査・選考
令和5年 6月26日	第2回教育振興事業選考委員会	埼玉教育会館	・令和5年度教育研究助成事業及び教育文化事業の審査・選考
令和5年 7月26日	第3回教育振興事業選考委員会	埼玉教育会館	・令和5年度高校生の奨学金給付事業(前期募集)の審査・選考
令和5年 11月8日	第4回教育振興事業選考委員会	埼玉教育会館	・令和6年度「大学給付奨学生(予約型)」の第一次審査・選考(書類)
令和5年 12月14日	第5回教育振興事業選考委員会	埼玉教育会館	・令和6年度「大学給付奨学生(予約型)」の第二次審査・選考(面接) ・令和5年度「はばたき」応援プロジェクトの審査・選考
令和6年 3月11日	第6回教育振興事業選考委員会	埼玉教育会館	・令和6年度前期送金分 貸与奨学生の審査・選考 ・令和5年度高校生(後期募集)及び中学生奨学金給付事業の審査・選考

令和5年度・令和6年度 教育振興事業選考委員会 委員名簿

氏名	所属 ・ 職名
山本 和人	委員長・東京家政大学名誉教授
赤松 峰親	副委員長・元埼玉県立熊谷高等学校長
金田 佳子	元本庄市立北泉小学校長
野口 浩	元さいたま市立与野東中学校長
伊藤 えつ子	元埼玉県立八潮高等学校長
須郷 恵子	元さいたま市立蓮沼小学校長

(順不同・敬称略)

3. 教育実践報告審査委員会について

本県教育の向上発展に寄与するため、個人(グループ)または学校を対象として教育実践報告を募集し、委員会において審査・選考を行いました。

開催日	会議名	会場	主な内容
令和5年 9月8日	第1回教育実践報告審査委員会	埼玉教育会館	令和5年度教育実践報告審査及び選考方法について
令和5年 10月10日	第2回教育実践報告審査委員会	埼玉教育会館	令和5年度教育実践報告審査・選考
令和5年 11月29日	教育実践報告表彰式	埼玉教育会館	令和5年度教育実践報告受賞者表彰式

令和5年度 教育実践報告審査委員会 委員名簿

氏名	所属 ・ 職名
堀田 香織	委員長・国立大学法人 埼玉大学教育学部長
牛久 裕介	副委員長・埼玉県立総合教育センター総合企画長
山田 浩一	上尾市立上平小学校長 (埼玉県公立小学校校長会副会長)
森田 吉信	川口市立南中学校長 (埼玉県中学校長会副会長)
内田 正俊	埼玉県立所沢高等学校長 (埼玉県高等学校長協会)
小池 八重子	埼玉県立越谷特別支援学校長 (埼玉県特別支援学校長会副会長)
三橋 勝美	埼玉県教職員組合書記局員
伊藤 稔	埼玉県高等学校教職員組合専門委員

(順不同・敬称略)

4. 生涯学習実践作文審査委員会について

県民(埼玉県在住・在勤)を対象に生涯学習に対する実践作文を募集し、委員会において審査・選考を行いました。

開催日	会議名	会場	主な内容
令和5年 9月6日	第1回生涯学習実践作文審査委員会	埼玉教育会館	令和5年度生涯学習実践作文審査及び選考方法について
令和5年 10月10日	第2回生涯学習実践作文審査委員会	埼玉教育会館	令和5年度生涯学習実践作文審査・選考
令和5年 11月29日	生涯学習実践作文表彰式	埼玉教育会館	令和5年度生涯学習実践作文受賞者表彰式

令和5年度・令和6年度 生涯学習実践作文審査委員会 委員名簿

氏名	所属 ・ 職名
山本 和人	委員長・東京家政大学名誉教授
大磯 宏	副委員長・前埼玉県公立小学校校長会事務局長
渡邊 秀昭	元埼玉県立川口北高等学校長
小川 三代子	元加須市立三俣小学校長
加藤 美幸	元朝霞市立朝霞第二小学校長
伊地知 幸子	埼玉県PTA連合会事務局長
川田 清隆	埼玉県高等学校PTA連合会事務局長

(順不同・敬称略)

II 教育振興事業

1. 奨学事業

(1) 貸与事業

大学等に進学する県内在住者に奨学資金として100万円まで無利息で貸与し、卒業後8年以内、(ただし貸与金が100万円の場合は10年以内)の年賦で返還する奨学事業を下記のとおり行いました。

貸与を希望する適格者全員に貸与いたしました。

(貸与奨学金事業は、日教弘本部の事業ですので、決算書には記載しておりません)

① 貸与の状況

年度		前年度未貸与	当年度貸与	当年度返還	年度末貸与者
令和5年度	人数	284名	34名	完済 26名	292名
	金額	179,302,930円	27,970,000円	31,774,542円	175,498,388円
令和4年度	人数	288名	26名	完済 30名	284名
	金額	192,658,934円	21,750,000円	35,103,004円	179,302,930円

② 奨学生の学校種別状況

年度	令和5年度		令和4年度	
学校種別	人数	金額	人数	金額
大学	29名	25,220,000円	23名	20,250,000円
その他	7名	2,750,000円	3名	1,500,000円
合計	36名	27,970,000円	26名	21,750,000円

※令和5年度には追加貸与者2名を含みます。

(2) 給付事業

本県に所在する国公私立高等学校・特別支援学校・中学校・中等教育学校に在学する生徒で、原則として以下のア、イ、ウに該当する者に、選考のうえ返還を要しない奨学金を給付します。また、令和4年度からエ、大学給付奨学生(予約型)の審査・選考を行っています。

ア、保護者が①死亡等により両方または片方がおらず、または②病気(交通事故等による怪我も含む)で就労が難しく、①、②のいずれかのため公的支援を受けているが、生活が困窮している家庭の子どもで、修学の意欲が旺盛で、高等学校等へ進学する中学3年生のうち校長から推薦のあった者を対象とします。

審査・選考のうえ、1人5万円ずつ、314名に1,570万円を給付しました。

年度	令和5年度	令和4年度
人数	314名	337名
金額	15,700,000円	16,850,000円

イ、家庭の経済環境が悪化(新型コロナウイルス感染症の影響も含む)し、学資金の支払い等が困難になっているが、修学意欲が旺盛な高等学校第2・3学年の生徒(定時制・通信制課程においては相当学年)のうち、校長から推薦のあった者を対象とします。なお、生徒の家庭においては、公的な支援を受けているものとします。特別支援学校にあつては、上記の条件に準ずる者とします。

審査・選考のうえ、1人10万円ずつ、150名に1,500万円を給付しました。

年度	令和5年度	令和4年度
人数	150名	148名
金額	15,000,000円	14,800,000円

ウ、保護者が①死亡等により両方または片方がおらず、または②病気(交通事故等による怪我も含む)で就労が難しく、①、②のいずれかのため公的支援等を受けているが、修学意欲が旺盛で、更に上級学校(国公私立大学・短期大学・専修学校専門課程)へ進学する成績優秀な(評定平均値3.8以上)高等学校第3学年(定時制・通信制については相当学年)の生徒のうち、校長から推薦のあった者を対象とします。特別支援学校にあつては、上記の学校に準ずる者を対象とします。

審査・選考のうえ、1人20万円ずつ、79名に1,580万円を給付しました。

年度	令和5年度	令和4年度
人数	79名	74名
金額	15,800,000円	14,800,000円

エ、令和4年度から、修学意欲がありながら学資金の支払いが特に困難と認められる者に対して、返還義務のない奨学金を給付し、大学への進学及び修学の継続を支援する、大学給付奨学生(予約型)の審査・選考を行っています。奨学生一人に対して月額3万円(4年間で144万円)を支給します。令和4年度は審査・選考により採用内定者8名を決定し、給付は令和5年度から開始しました。令和5年度も審査・選考により採用内定者8名を決定しました。

2. 教育研究助成事業

学校教育の充実・発展に寄与するため、以下の事業を行いました。

(1) 教育実践報告への助成

教育に関する実践報告を、県内の学校・教育機関の個人(グループを含む)または学校を対象として募集し、教育実践報告審査委員会で審査・選考のうえ、優れたものに助成金を贈り表彰しました。令和3年度に新設した若手教職員(年齢35歳未満の教職員等)を対象とした「ヤング部門」も含め「一般部門」「学校部門」と3つの部門としています。

なお、募集については令和5年4月1日付け文書及び参事・「教弘会報埼玉」等による広報を行いました。

応募・助成状況

		小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	その他	合計
令和5年度	ヤング	25	7	1	3	0	36
	一般	14	3	4	5	0	26
	学校	3	3	1	0	1	8
	合計	42	13	6	8	1	70

助成件数 58 件 助成金額 1,858,220円

		小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	その他	合計
令和4年度	ヤング	16	7	0	3	0	26
	一般	17 (グループ1含む)	4	2	3	0	26
	学校	2	4	0	0	0	6
	合計	35	15	2	6	0	58

助成件数 51 件 助成金額 1,666,850円

(2) 学校課題研究助成事業

助成状況

学校種別 年度	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	幼稚園等	合計	助成金額
令和5年度	666	333	24	16	15	1,054	4,159万円
令和4年度	694	336	24	14	11	1,079	4,396万円

(3) 環境教育支援事業

助成状況

学校種別 年度	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	幼稚園等	合計	助成金額
令和5年度	313	117	9	1	10	450	1,716万円
令和4年度	323	121	7	1	9	461	1,688万円

(4)国際理解教育支援事業

助成状況

年度\学校種別	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	幼稚園等	合計	助成金額
令和5年度	30	10	10	1	2	53	211万円
令和4年度	31	17	9	0	1	58	223万円

(5)キャリア教育支援事業

助成状況

年度\学校種別	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	幼稚園等	合計	助成金額
令和5年度	34	53	14	3	1	105	405万円
令和4年度	39	64	16	2	1	122	457万円

(6)防災教育支援事業

助成状況

年度\学校種別	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	幼稚園等	合計	助成金額
令和5年度	73	61	2	5	1	142	538万円
令和4年度	74	46	5	3	3	131	487万円

(7)ICT活用教育支援事業

助成状況

年度\学校種別	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	幼稚園等	合計	助成金額
令和5年度	231	109	8	12	0	360	1,446万円
令和4年度	293	118	11	8	0	430	1,549万円

(8)連合教育研究会等への助成

助成状況

令和5年度	41団体	670万円
令和4年度	41団体	663万円

(9)全国・関東ブロック研究大会への助成

助成状況

令和5年度	12団体	133万円
令和4年度	2団体	15万円

(10)教育関係団体への助成

助成状況

令和5年度	26団体	585万円
令和4年度	26団体	589万円

教育関係助成団体一覧

No.	団体名	No.	団体名
1	埼玉県公立小学校校長会	14	埼玉県高等学校教職員組合
2	埼玉県中学校長会	15	埼玉県高等学校定時制通信制校長会
3	埼玉県高等学校長協会	16	埼玉県事務主幹・事務主査会
4	埼玉県公立小中学校教頭会	17	埼玉県公立小中学校事務職員研究協議会
5	埼玉県高等学校等副校長・教頭会	18	埼玉県養護教諭会
6	埼玉県公立高等学校事務委員会	19	埼玉県学校保健主事会
7	埼玉県公立小・中学校女性校長会	20	埼玉県特別支援学級等設置校校長会
8	埼玉県公立小・中学校女性教頭会	21	埼玉県学校栄養士研究会
9	埼玉県特別支援学校校長会	22	埼玉県高等学校等女性管理職の会
10	埼玉県公立学校事務長会	23	埼玉教職員組合
11	さいたま市中学校長会	24	さいたま教育文化研究所
12	埼玉県特別支援学校副校長・教頭会	25	埼玉県国公立幼稚園・こども園長会
13	埼玉県教職員組合	26	埼玉県町村教育長会

(11)「はばたき」応援プロジェクトの実施

小学校6年生の卒業に向けた特色ある取組等への支援として助成しました。

助成状況

令和5年度	79校	237万円
令和4年度	77校	231万円

(12)教育研究助成金贈呈式並びに教育講演会の開催

埼玉県教育委員会、さいたま市教育委員会、埼玉県都市教育長協議会及び埼玉県町村教育長会の後援の下、埼玉県教育の充実・発展に寄与することを目的として教育研究助成金贈呈式並びに教育講演会を下記の通り開催しました。

- 期 日 令和5年10月25日(水)
- 会 場 さいたま市文化センター 大ホール
- 演 題 日本の教育の現状と課題
- 講 師 東京大学大学院教育学研究科教授
日本学術会議連携会員 本田 由紀 氏

(13)「研究・実践成果報告集12」の刊行

教育研究助成事業の助成対象校(学校課題研究・環境教育・国際理解教育・キャリア教育・防災教育・ICT活用教育)の優れた研究・実践をまとめ、学校・教育機関等に計1,850部配付し、教育の振興に寄与しました。

(14)公益財団法人日本教育公務員弘済会の「日教弘教育賞」募集への協力

研究実践論文3編を推薦し、3編とも「奨励賞」を受賞しました。

(15)公益財団法人東京海上日動教育振興基金の教育研究論文募集への協力

教育研究論文9編を推薦し、9編とも「採択」されました。

(16)新設校への助成(助成は株式会社 埼玉教弘)

令和5年度新設校 行田市立太田小学校、熊谷市立成田星宮小学校、日高市立武蔵台小中学校、埼玉県立児玉高等学校、埼玉県立飯能高等学校、埼玉県立岩槻はるかぜ特別支援学校、埼玉県立狭山特別支援学校狭山清陵分校、埼玉県立久喜特別支援学校白岡分校、埼玉県立川口特別支援学校鳩ヶ谷分校に記念品を贈呈しました。

また、令和3年度に新設され、贈呈が延期となっていた川口市立高等学校附属中学校にも記念品を贈呈しました。

助成金額 935,450円

3. 教育文化事業

(1)生涯学習実践作文の募集

テーマ 自分の学び＝生涯学習を生かした課題解決の実践

募集 募集案内の県内教育機関等への配布及びホームページ等での広報

応募・助成状況

	応募数	助成数	助成金額
令和5年度	19編	10件	341,370円
令和4年度	17編	13件	381,370円

(2)教育文化講演会(地域教育研究会主催)に対する助成

助成状況

令和5年度	14団体	1,180,000円
令和4年度	3団体	340,000円

(3)教育文化事業団体(学校応援団含む)への助成

助成状況

令和5年度	19団体	1,130,000円
令和4年度	24団体	1,380,000円

(4)「弘済会埼玉支部 PRESENTs ハートフル コンサート」への助成

助成状況

令和5年度	13校	5,391,254円
令和4年度	13校	4,806,276円

※演奏使用料を含む

(5)教弘文庫の刊行と配布

令和4年度に地域教育研究会等が実施した「教育文化講演会」の講演要旨、並びに「教育実践報告」「生涯学習実践作文」から優れた実践報告・実践作文を集録した教弘文庫を刊行し、各学校・教育機関等へ贈呈しました。

刊行物	刊行部数	刊行日
教弘文庫118 「教育文化講演集38」	4,000部	4月21日
教弘文庫119 「教育実践報告集54」	2,250部	4月21日
教弘文庫120 「生涯学習実践作文集33」 SDGs ～私にできる身近な取組～	15,500部	4月21日

※ 教弘文庫119「教育実践報告集54」は教育研究助成事業となります。

Ⅲ 福祉事業

1. 福利厚生

(1) 厚生施設利用の促進

紀州鉄道・リステル・東急ハーヴェストクラブの法人会員権に基づく利用券を効率的に活用し、宿泊等福利厚生施設の広報に努め、利用の促進を図りました。

なお、令和5年度から利用対象者を「教弘保険加入者・同行家族等のみ」と変更しました。

利用人数

	令和5年度	令和4年度
紀州鉄道	235名	226名
リステル	42名	42名
東急ハーヴェスト	77名	86名
合計	354名	354名

(2) 宿泊施設等の利用と補助

広報誌等を通して協定している旅館・民宿等の利用促進に努めています。

利用人数

	令和5年度			令和4年度		
	本人	家族	合計	本人	家族	合計
埼玉支部協定施設	109名	98名	207名	167名	121名	288名
日教弘指定施設	89名	25名	114名	75名	27名	102名
合計	198名	123名	321名	242名	148名	390名

補助人数

金額		年度	令和5年度	令和4年度
教弘保険加入者	3,000円		101名	130名
教弘保険加入者 (7月～8月利用者)	5,000円※		97名	112名
合計			198名	242名

※令和2年度から7月～8月の2ヶ月間のみ、協定施設を利用する教弘保険加入者は、1泊につき補助額を2,000円増額し5,000円としています。

補助額 788,000円

2. 生涯福祉推進事業

(1) 小・中・高・特支の校長会代表と弘済会との「教職員の生涯福祉を考える教育懇談会」を7月21日(金)、埼玉教育会館に於いて開催しました。

(2) 介護福祉施設(ALSOK介護(株))の紹介事業を行いました。

3. 祝品・記念品の贈呈

(1) 結婚祝品の贈呈(商品券)

結婚された教弘保険加入者の方に記念品を贈呈しました。

贈呈人数

	令和5年度	令和4年度
人数	403名	472名

贈呈額 2,015,000円

(2) 出産祝品の贈呈(図書カード)

お子さんが誕生された教弘保険加入者の方に記念品を贈呈しました。

贈呈人数

	令和5年度	令和4年度
人数	707名	690名

贈呈額 2,089,185円

(3) 教弘保険新規加入者への記念品の贈呈(図書カード)(助成は株式会社 埼玉教弘)

教弘保険新規加入者(10口以上)の方に記念品を贈呈しました。

贈呈人数

	令和5年度	令和4年度
人数	873名	853名

贈呈額 859,905円

(4) 教弘保険継続者への記念品の贈呈(図書カード)(助成は株式会社 埼玉教弘)

教弘保険継続者(5年・10年・15年・20年・25年・30年)に記念品を贈呈しました。

贈呈人数

	5年	10年	15年	20年	25年	30年	合計
令和5年度	966名	912名	657名	269名	168名	259名	3,231名
令和4年度	1,044名	888名	600名	123名	190名	312名	3,157名

贈呈額 6,365,070円

(5) 友の会入会記念品の贈呈(商品券)(助成は株式会社 埼玉教弘)

退職後も、教弘保険を継続している新規の退職者に記念品を贈呈しました。

贈呈人数

	令和5年度	令和4年度
人数	893名	868名

贈呈額 2,679,000円

4. 健康保持増進

(1) 人間ドック受診者への補助

① 現職教弘保険加入者

人間ドック・婦人科検診または脳ドックを受診した教弘保険加入者にはその1種類(年度内1回)について、個人負担金の一部を基準により補助しました。

補助人数

年度 金額	令和5年度	令和4年度
5,000円	3,499名	3,880名
3,000円	1,120名	1,376名
2,000円	48名	54名
その他	127名	153名
合計	4,794名	5,463名

② 退職教弘保険加入者(友の会会員)

友の会会員が、人間ドックまたは脳ドックを受診したときに、年度内で1回に限り5,000円の補助をしました。

補助人数

	令和5年度	令和4年度
人数	2,795名	2,736名

①+② 補助額 35,185,264円

(2) サッカー観戦チケット、映画鑑賞券の贈呈

現職の教弘保険加入者(10口以上)に、サッカーJリーグ浦和レッズ観戦チケット及びイオンシネマ、ユナイテッドシネマ映画鑑賞券を抽選により贈呈しました。

また友の会会員にも映画観賞券を抽選により贈呈しました。

贈呈人数

	浦和レッズ観戦	イオンシネマ	ユナイテッドシネマ	合計
人数	18名	75名	75名	168名

贈呈額 643,956円

(3) 大腸がん予防検診等の実施

退職教弘保険加入者とその家族を対象に、一般財団法人日本健康増進財団の「大腸がん検査」、「前立腺がん検査」、「ピロリ菌抗体検査」、「ペプシノゲン検査(胃)」を案内し、のべ406人が受診しました。

(4) ウオーキング(歩け歩け)運動への参加支援

当支部が埼玉県ウオーキング協会の賛助会員となり、教職員の歩け歩け運動への参加による健康づくりを支援しました。

5. 弘済会埼玉友の会活動の推進

超高齢社会にあつて、退職後の生活設計は一層重要となっています。退職後をどう生きるか、どのような生き甲斐を見つけるか、共に考え、活動しました。

(1) 組織

退職後も継続した教弘保険加入者で組織し、本部と支部が一体となって活動を進めています。

令和6年1月現在、14支部786班（世話人690人）、会員14,446人です。うち、準会員は326人です。

(2) 運営・活動

全県世話人会は、人数制限をして午後のみで開催としました。幹事会はコロナ禍以前の形態（正副会長・正副支部長が参加）で実施しました。支部総会は13支部で実施（1支部は資料配付）しました。福祉事業の変更等に係る議題を協議するため、正副会長会議を実施しました。

開催日	会議名	場所
令和5年5月19日	全県世話人会	埼玉会館小ホール
5月26日	大里西支部総会	キララ上柴行政サービスセンター第一会議室
5月30日	入間西支部総会	飯能市富士見地区行政センター
5月31日	入間東支部総会	クラッセ川越
6月1日	北足立南支部総会	ジブラルタ生命保険(株)川口第一営業所
6月1日	埼玉葛南支部総会	春日部市民文化会館
6月2日	秩父支部総会	秩父市福祉女性会館
6月3日	児玉支部総会	本庄市民文化会館
6月4日	大里東支部総会	(資料配付)
6月5日	比企支部総会	松山市民活動センター
6月5日	埼玉葛北支部総会	久喜総合文化会館
6月7日	北足立中支部総会	埼玉教育会館
6月7日	北埼玉支部総会	ワークヒルズ羽生
6月8日	北足立北支部総会	桶川市民ホールプチホール
6月17日	大宮支部	プラザノース
7月20日	幹事会	埼玉教育会館
12月6日	正副会長会議	埼玉教育会館
令和6年1月25日	常任幹事会	埼玉教育会館

(3) 助成金

種類	令和5年度	令和4年度
支部運営費助成金	2,718,760円	2,714,680円
支部総会助成金	980,000円	980,000円
「友の会だより」配付助成金	2,504,724円	2,498,332円
クラブ活動費助成金	40,000円	50,000円
支部名簿作成助成金	140,000円	140,000円
支部だより発行助成金	90,000円	100,000円
支部保険相談会開催助成金	90,000円	50,000円

6. 弔慰金

死亡された教弘保険加入者の方へご香料を手向けることにより弔慰を表しました。

	令和5年度	令和4年度
人数	179名	180名

※令和4年度は生花・弔電を含む

支給額 1,790,000円

7. (株) ツヴァイとの提携による結婚紹介

(株)ツヴァイと法人契約を結び、当支部会員及びその家族が入会するときに、入会時初期費用が11,000円割引となります。令和6年3月末現在697名(累計)の方が入会され、306人の方が成婚等に至り退会しています。

なお、当支部には加入者の性別・年代のみ通知されることとなっており、加入者のプライバシーは厳重に守られています。

8. 損害保険事業

教職員にとって必要かつ有意義な補償内容の下記保険商品の普及に努めました。

- (1) 教弘まなびやスーパープラン
- (2) 教弘フルガード
- (3) 教職員収入ロングウェイサポート

IV 共済事業 (提携保険事業)

教弘保険の普及拡大が、教育の振興及び教育関係者の福祉向上に多大な貢献をしていることを踏まえ、その加入促進に努めるため、当支部の趣旨及び事業に賛同する会員の拡大を図ります。

なお業務は、提携保険会社及び株式会社埼玉教弘に委託しています。

V 参事の活動

15名の参事が地区を分担し、学校や地区校長会等において、当支部の諸事業やジブラルタ生命の状況を説明し、弘済会及びその事業に対する教職員の理解と支持を得るよう努めています。またジブラルタ生命との相互の協力体制の確立を目指して、ジブラルタ生命学校担当営業職員(LC)の活動しやすい環境づくりに継続して取り組みました。

今年度は学校での事業説明会を479回、校長会等で160回、合計639回実施し、事業の説明・広報活動を行いました。

また、教育研究助成金決定通知書の伝達などにより、当支部への理解と、LCの支援に努めてきました。

毎月1回参事打合せを行い、当支部の事業周知・教弘保険拡大・学校の状況・ジブラルタ生命各営業所の現況認識等について協議・研修しています。

VI 広報活動

当支部の事業の発展を目指し、「教弘会報埼玉」・「教弘会報埼玉 かわらばん HAPPY VOICE!」を発行し、教育的な共感を呼ぶ記事を中心に事業内容を幅広く紹介し、教弘保険加入者の一層の拡大を図る広報活動を推進しました。

1. 編集方針

- (1) 当支部の事業の発展を目的とする。
- (2) 当支部の事業内容を幅広く具体的に紹介する。
- (3) 生き生きとした教育に関する記事の掲載に努める。
- (4) 多くの教職員の記事を掲載し、親しみのもてる紙面づくりに努める。
- (5) 読者に分かりやすい記事の作成を心がけ、読んでよかったと思える工夫を重ねる。

2. 作成広報物

(1) 「教弘会報埼玉」

号数	発行日 (部数)	主 な 内 容	
263 (新年度 スタート 号)	令和5年 4月12日 (57,800)	支部長挨拶 学校NOW 記事 募集案内	動き出すまでが大変、でも動き出せば ～2つの摩擦係数の違い～ 所沢市立向陽中学校 令和5(2023)年度 弘済会埼玉支部事業計画 令和5年度 参事のご紹介 日教弘の会員になりましょう！ 令和5年度「教育実践報告」の募集
264 (2023 夏 号)	令和5年 6月16日 (57,800)	支部長挨拶 学校NOW 記事 募集案内	子どもたちの夢の実現を応援し続けて、20年目！！ ～9,730人に6億5,948万円を給付～ 埼玉県立飯能高等学校 令和5年度 幹事・監査の紹介 令和5年度 新運営委員の紹介 日教弘の会員になりましょう！ 教弘まなびやスーパープラン
265 (2023 新秋号)	令和5年 8月25日 (57,800)	副支部長挨拶 学校NOW 記事 募集案内	笑顔のもとに笑顔が集まる さいたま市立指扇中学校 金融リテラシー講座を実施しました 日教弘の会員になりましょう！ 「映画観賞券」プレゼント
266 (教育研究 助成特集 号)	令和5年 11月30日 (57,800)	常任幹事挨拶 記事 募集案内	子どもたち・教職員・学校の応援団として 新設校記念品贈呈 教育研究助成金贈呈式並びに教育講演会 セカンドライフセミナーを開催しました 教職員収入ロングウェイサポート・団体扱自動車保険
267 (新年号)	令和6年 1月11日 (57,800)	支部長挨拶 学校NOW 記事	大空へと駆け昇る龍のごとく！！ 熊谷市立三尻小学校 教育実践報告並びに生涯学習実践作文表彰式 弘済会埼玉支部PRESENTsハートフルコンサート 学校応援キャンペーン「学校賞」の贈呈
268 (春うらら 号)	令和6年 2月22日 (57,800)	副支部長挨拶 学校NOW 記事 募集案内	信じてかかわり続けた先に 埼玉県立草加かがやき特別支援学校 令和6年度 福祉事業における変更点について 新設校記念品贈呈 ドリーム・スクールキャラバン「走力up！教室」が開催 されました 日教弘の会員になりましょう！ 教弘まなびやスーパープラン・団体扱火災保険

※各号点字版7部発行

(2) 「教弘会報埼玉 かわらばん HAPPY VOICE！」

号数	発行日 (部数)	主 な 内 容
4	令和5年 5月10日 (56,000)	・弘済会埼玉支部 PRESENTs ハートフルコンサート ・みんなの広場 ・頑張れ！！給付奨学生
5	令和5年 9月28日 (56,000)	・夏クイズ2023 クイズ当選者発表！ ・みんなの広場 ・皆様からのおハガキ
6	令和5年 10月27日 (56,000)	・弘済会埼玉支部 PRESENTs ハートフルコンサート ・みんなの広場 ・夏クイズ2023 A賞贈呈式

※各号点字版7部発行

(3) 「弘済会埼玉 友の会だより」

号数	発行日 (部数)	主 な 内 容	
71	令和5年 9月1日 (17,000)	会長挨拶 記事 募集案内	関東大震災から100年 ～様々な教訓を忘れることなく～ 令和5年度 弘済会埼玉友の会全県世話人会 会則と準会員規程の一部改正について 支部総会の実施報告 教弘フルガード
72	令和6年 2月1日 (16,900)	副会長挨拶 記事 募集案内	AEDを使いこなそう 令和6年度 弘済会埼玉友の会の諸事業 弘済会埼玉友の会の新たな組織・運営について 令和6年度 弘済会埼玉友の会支部総会一覧 読者のページ 新築・リフォームをお考えの方へ朗報です！

(4) 「弘済会のご案内」	4月	25,000部発行
(5) 「宿泊施設の一覧」	4月	87,000部発行
(6) 「弘済会事業一覧」	4月	91,400部発行
(7) ポスターカレンダー	4月	3,100部発行
(8) 「夏クイズ2023」	6月	57,800部発行
(9) 卓上カレンダー	11月	28,500部発行